

(様式 1-3)

福島県 (本宮市) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 30 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | | |
|---|------------------------------|-----|--------------------------------------|------------------------------|------|----------|
| NO. | 1 | 事業名 | 個人線量管理・線量低減活動支援事業 (農産物等放射性物質検査事業) | | 事業番号 | (3)-23-1 |
| 交付団体 | 本宮市 | | 事業実施主体 (直接/間接) | 本宮市 (直接) | | |
| 総交付対象事業費 | (63,908) (千円) 90,975 (千円) | | 全体事業費 | (63,908) (千円) 90,975 (千円) | | |
| 帰還環境整備に関する目標 | | | | | | |
| <p>東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故 (以下、原発事故という) の長期化に伴い、市民の放射線への関心は高く、特に内部被ばくの影響が懸念される農林産物や自家消費野菜等の食の安全・安心の確保は極めて重要である。野生きのこや山菜類には出荷制限の対象となっているものがあり、出荷制限対象外の農林産物等についても放射性物質の測定を進めている。</p> <p>このことから、市民が安心して農林作物等を摂取できる環境を整備するために、放射性物質の測定を市内 3 ヲ所で行える体制を整備し、食の安全・安心を確保することにより、地域の再生を加速させる。</p> | | | | | | |
| 事業概要 | | | | | | |
| <p>上記で掲げた目標達成のため、市内 3 ヲ所の測定所において放射性物質分析機器を用いて自家用農産物等の放射性物質検査を実施することで、農林産物等の放射線に関する不安を払拭し、住民の安全・安心を確保する。</p> <p>【農産物等放射性物質検査事業】</p> <p>1. 測定場所 (平成 30 年 1 月現在)</p> | | | | | | |
| No. | 測定場所 | | 住所 | 申込連絡先 | | |
| 1 | 放射能除染・モニタリングセンター | | 本宮市本宮字万世 26-3 | 0243-63-2682 | | |
| 2 | 白沢測定所 (白沢老人福祉センター内) ※ | | 本宮市和田字石上 127 | 0243-44-2706 | | |
| 3 | 荒井測定所 (荒井地区公民館内) | | 本宮市荒井字茶園 5 | 0243-24-8781 | | |
| ※2. 白沢測定所は白沢総合支所へ移設し、白沢簡易測定所 (本宮市白岩字堤崎 494-22) と統合予定。 | | | | | | |
| 2. 予約時間 (土日・祝祭日を除く) | | | | | | |
| 予約時間: 午前 9 時~午後 5 時 | | | | | | |
| 測定時間: 午前 9 時~午後 4 時 30 分 | | | | | | |
| 3. 検査対象: 自宅で収穫された自家用農産物など | | | | | | |
| 4. 費用: 無料 | | | | | | |
| 5. 持込方法・測定時間など | | | | | | |
| | きざまずに測る測定 | | きざんで測る測定 | | | |
| 必要な量 | 500 g 以上 | | 500 g 以上 | | | |
| 持込方法 | 水洗いで泥や土、汚れを落として持参 | | 水洗いで泥や土、汚れを落とし、細かく刻んで持参 | | | |
| 測定時間 | 10~20 分程度 | | 30~50 分程度 | | | |
| 検出限界値 | 25Bq/kg | | 10Bq/kg | | | |

| |
|---|
| <p>「本宮市第1次総合計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に支えあうやさしいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> 心と体の健康づくりの推進 放射線リスクの軽減 <p>「本宮市復興創生計画【第1版】」</p> <p>施策 1-2 健康対策</p> <p>(2) 市民の食の安全確保</p> <p>農産物等放射能モニタリング検査</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> |
|---|

当面の事業概要

| |
|--|
| <p><平成30年度></p> <p>農林産物等の放射線に関する住民の不安を払拭することを目的として放射性物質測定を実施し、住民の安全・安心を確保する。</p> <p>○白沢測定所の移設</p> <p>市内3測定所のうち白沢測定所は立地が不便であるとの市民の意見が多いことから、行政機能が集約している白沢総合支所内へ移設し、住民の利便性向上を図る。</p> <p>白沢総合支所敷地内には無人の白沢簡易測定所があり、市内3箇所の測定所に持ち込まれた農産物の中で、放射性物質濃度がスクリーニングレベル（50Bq/kg）以上検出された農産物に付着していた泥、出荷制限品目が生育する周辺土壌、農業用水、井戸水等を市民の要望に応じて測定している。</p> <p>白沢簡易測定所に測定員は常駐していないため、必要が生じた際に他の測定所から測定員を派遣し、その都度機器の起動および調整等を行う必要があり、効率的でなかった。</p> <p>今回、白沢測定所の移設に伴い白沢簡易測定所と統合するため、白沢簡易測定所への派遣に要していた人員を削減し、市内3測定所で10名要していた人員を8名に減らす。</p> <p>以上、機能と人員の集約および測定環境整備により、放射性物質検査事業の体制確保と効率化、利便性向上を図り、市民の自家消費農産物等に対する安心・安全の確保を確保する。</p> <p>●平成30年度運営費 27,067千円</p> <p><平成31~32年度></p> <p>継続しての実施を予定している。</p> |
|--|

地域の帰還環境整備との関係

| |
|---|
| <p>原発事故以降、農林産物等への影響が大きく、現在でも野生きのこや山菜類などには出荷制限の対象となっているものもあり、本市の農業をさらに復興させるためには、農林産物等の放射線に関する消費者の不安を払しょくすることが重要である。放射性物質分析機器を用いた検査を通して農林産物等の安全・安心を確保し、地域の再生を加速させる。</p> |
|---|

関連する事業の概要

| |
|--|
| |
|--|

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

| 関連する基幹事業 | |
|-----------|--|
| 事業番号 | |
| 事業名 | |
| 交付団体 | |
| 基幹事業との関連性 | |
| | |

